



有菌 美沙(ありぞの みさ)
東京大学大学院
医学系研究科博士課程1年

平成20年度より脳科学総合研究センター 発生神経生物研究チームにJRAとして所属

アストロサイトの機能において中心的な役割を担うカルシウム動態に焦点をあてて研究を進めている。



大学と異なる刺激を受けるチャンス！

【JRAに応募した経緯】

修士課程より携わっていたイメージングの技術を用いた研究を続行させるのに理想的な研究設備が整っていること、自身の興味の対象である脳科学の研究の中心地であることから、博士課程を理化学研究所で研究することを志望しました。また所属する研究室の先輩達がJRA制度により、経済的に安定した充実した研究生活を送っていることを知り、応募いたしました。

【JRAとして理研において研究を実施したことにより、大学での研究では得られなかったこと】

理化学研究所では大学とは異なる教育を受けるチャンスに恵まれます。私が在籍しております脳科学総合研究センターでは、数多くのセミナーが主催され、講義とは異なる刺激を受けることができます。さらに経験豊かな研究員に指導を受けることで多くのことが学べます。研究室間の非常にオープンな交流があるため、研究室外からも技術指導や助言を受けられる機会や、学生でありながらさまざまな分野の一流の研究者と直接話す機会が豊富にあります。また他に類をみない顕微鏡をはじめとする充実した設備は研究の選択肢を広げてくれます。同じ建物の中で脳科学の研究に必要なさまざまな技術を学び、最新の設備を活用できる研究生活は、大学では得難いものだと思います。海外からの研究員とのコミュニケーションを通して、ディスカッションに耐える英語力や国際的な視野を養うことができるのも大きなメリットです。

JRAの給与で自立した生活を支えてもらっていることは、研究の大きな励みになっています。

【後輩へのメッセージ】

理研においてJRAとして研究することの最大の利点は、研究者という職業についてより深く知ることができることだと思います。私も国内外さまざまな分野の研究者に触発されながら研究を進めることで、目指す研究者になるためにはどうすればいいのかという自分なりのビジョンがだんだんと開けてきました。JRAとして給与をもらって研究をしているという自覚が研究へのやる気や責任感につながっています。

みなさんも是非研究者を志すにあたって大切な時期を、JRA制度による経済的なサポートとともにすばらしい環境で送ってみませんか。

